

今年度の学力調査及び体力調査の結果をお知らせいたします。今後は、調査結果をもとに、本校児童の学習や体力の状況に応じた授業や取組を実施していきます。以下は、学力調査、体力調査の結果ならびに分析、改善策です。

【第5学年】 東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果（平成30年7月6日実施）

（1）教科の内容・観点別の調査結果（正答率：％）

	関心・意欲・態度		思考・判断・表現 (国語:話す・聞く)		技能 (国語:書く)		知識・理解 (国語:言語)		読む	
	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都
国語	94.9	93.8	85.6	80.9	43.8	39.6	63.0	53.3	83.0	74.1
社会	91.4	87.4	76.8	71.6	80.9	77.7	76.6	60.9		
算数	90.8	85.0	55.4	38.1	75.5	64.5	63.4	52.9		
理科	93.8	91.0	66.1	60.7	69.7	64.0	85.8	78.4		

（2）読み解く力に関する内容・観点別の調査結果（正答率：％）

	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都	練馬東小	東京都
国語	71.6	71.2	72.7	68.4	76.1	65.2
社会	75.3	70.6	62.1	52.2	61.5	51.6
算数	67.2	52.0	29.3	21.4	31.0	20.6
理科	77.3	71.2	76.7	70.9	66.5	58.0

分析と改善策

<国語>

○都の平均を上回っています。

○話す・聞く能力では、授業で自分の考えを発表する機会が多い児童ほど、正答率が高いです。自分の考えを発表する機会を増やし、相手の考えと自分の考えを比べ、自分の考えが深められるようにしていきます。

○書く能力では、事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする活動を多く取り入れていきます。

<社会>

○都の平均を上回っています。

○技能の能力において、地図や統計などの基礎的資料を効果的に活用することで、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する活動を取り入れた指導をしていきます。

<算数>

○都の平均を大幅に上回っています。しかし、学習理解の差が大きいです。知識・理解の能力において、既習事項の反復学習を行い、学習内容を確実に定着するようにしていきます。

○数学的な考え方では、学習の中で話し合い活動を行い、自分の考えを述べている児童ほど、正答率が高いです。また、話し合い活動の成果も表れてきています。既習事項を活用して問題解決ができるように、話し合い活動を取り入れた指導をしていきます。

<理科>

○都の平均を上回っています。

○思考・判断・表現の能力では、調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できるように、対象から情報を取り出し、原因と結果の関係から考察できるように確認しながら取り組んでいきます。

【第6学年】 全国学力・学習状況調査結果（平成30年4月17日実施）

（1）国語 評価の観点別の調査結果（A：主として知識 B：主として活用）（正答率：％）

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力		書く能力		読む能力		言語	国語全体	
	B	A	B	A	B	A	B	A	A	B
練馬東小	43.1	94.7	76.4	86.7	55.5	81.3	52.0	75.0	79.0	63.0
東京都	33.6	92.6	66.8	77.9	47.1	76.5	52.1	69.9	74.0	57.0
全国	33.2	90.8	64.6	73.8	45.6	74.0	50.8	67.0	70.7	54.7

（2）算数 評価の観点別の調査結果（A：主として知識 B：主として活用）（正答率：％）

	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		算数全体	
	B	A	A	B	A	B
練馬東小	55.7	70.4	68.4	74.7	69.0	58.0
東京都	52.8	67.5	67.2	76.8	67.0	55.0
全国	49.2	63.0	63.8	71.7	63.5	51.5

（3）理科 評価の観点別の調査結果（正答率：％）

	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解・技能	理科全体
練馬東小	81.3	63.1	70.7	88.7	68.0
東京都	83.2	56.5	72.6	78.5	62.0
全国	82.1	54.1	71.1	81.5	60.3

分析と改善策

<国語>

○都や全国の平均を大幅に上回っています。

○自分の考えを明確にして読むことについて苦手としている児童が多く、記述式の無回答率が全国や都よりも高いです。○教材を読む、意見を述べる場面では、自分の考えをもつだけでなく、友達の見解と比べながら自分の考えを伝えられるよう、授業改善に取り組みます。

<算数>

○都や全国の平均を、上回っています。

○「分からない」「できない」ことに対して解答にたどり着くまで考えようとせず、無回答率が高いです。

○新しい問題に出合ったとき、それを解きたい、解き方がわからないときに諦めずにいろいろな方法を考えている児童の正答率が高いです。習熟度別の指導、ベーシックドリルの結果を活用した指導を行い、つまづいている児童を減らしていきます。また、問題を解いてみたいと意欲が高まる問題提示も意識していきます。

<理科>

○理科全体では、都や全国の平均を、上回っています。

○観察・実験の技能において全国や都の平均を下回りました。

○実験を行うことが好きというよりも、実験が正しく行っているかを振り返りながら考えている児童の正答率が高いです。今後、実験内容を適時、確認しながら取り組んでいきます。

○実験結果と自分の推論の類似点や相違点について、どうしてそうなったかの原因を考える習慣を今後も付けられるように支援します。

平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力 練馬東小学校結果報告

昨年6月に行われた体力テストの結果について報告いたします。いくつかの種目においては、東京都の平均得点を上回るものもありましたが、どの学年も概ね都平均と同じか下回る結果となりました。

本校は、全体的に持久力と俊敏性の面で課題が見られます。下記に各学年の課題と今後の指導重点項目を示しました。今回の課題が少しでも改善できるよう、日々の体育の授業を工夫するとともに、全校で様々な運動に取り組む機会を設けるなど、体力向上を目指し取り組んでまいります。

平成30年度 練馬東小学校 体力の現状

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	男子	女子										
握力	9.1	9.1	10.4	9.5	13.4	12.9	13.3	12.8	16.1	15.1	19.6	18.9
都平均	9.1	8.4	10.8	10.2	12.7	11.9	14.6	13.8	16.6	16.2	19.4	19.2
上体起こし	11.0	10.1	12.5	10.6	16.1	15.0	17.7	17.8	19.1	18.4	22.9	21.0
都平均	11.2	10.9	14.2	13.7	16.3	15.7	18.5	17.9	20.2	19.4	22.1	20.8
長座体前屈	25.4	29.1	27.6	29.2	26.6	31.4	29.5	34.9	32.2	37.1	35.2	44.0
都平均	25.9	28.5	27.5	30.8	29.7	33.3	31.4	35.6	33.6	38.2	35.8	41.2
反復横とび	26.0	24.7	30.7	27.1	34.2	32.0	37.1	35.6	41.1	37.8	45.1	42.4
都平均	27.0	25.9	30.9	29.6	34.6	32.8	38.7	37.0	42.2	40.5	45.4	43.3
20mシャトルラン	17.4	14.7	24.3	15.3	35.2	29.2	43.2	31.8	43.9	34.6	58.6	44.6
都平均	17.7	14.5	27.6	20.9	36.0	26.6	44.4	33.6	51.3	40.4	59.0	46.4
50m走	11.3	11.6	10.3	10.9	9.9	10.2	9.8	10.1	9.3	9.6	8.9	9.2
都平均	11.4	11.8	10.5	10.9	10.0	10.3	9.6	9.9	9.2	9.5	8.8	9.1
立ち幅とび	113.9	107.3	123.5	112.9	141.3	134.8	148.5	136.8	159.1	156.2	170.0	167.1
都平均	112.5	104.7	124.0	115.9	134.7	126.6	143.8	136.5	152.4	146.0	163.7	155.6
ソフトボール投げ	7.6	5.7	11.1	6.1	15.4	9.1	17.2	10.9	21.2	12.2	25.5	13.8
都平均	7.6	5.2	11.0	7.0	14.7	8.9	18.1	10.9	21.4	12.9	25.0	14.8

※網掛けの部分は、東京都の平均と比較し、本校の偏差値が上回った種目です。

1年生の結果概要

○男子・女子ともに、立ち幅とび、50m走が都平均より高い水準にあります。また、女子は握力、長座体前屈ソフトボール投げも都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、反復横跳び、上体起こしの得点が低く、持久力と筋持久力に課題があります。

持久力と筋持久力の向上を目指します。鬼ごっこなどのすばやい動きが必要な運動と、体幹の筋力を高める運動を体育の授業で取り入れます。

2年生の結果概要

○男子は、50m走が都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、20mシャトルランの記録が特に低く、持久力に課題があります。

持久力の向上を目指します。なわとび、持久走などの長時間ねばり強く続ける運動を体育の授業の中に積極的に取り入れて、持久力を高めます。

3年生の結果概要

○男子・女子ともに、握力、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げが都平均より高い水準にあります。また、女子は20mシャトルランも都平均よりやや高い水準にあります。

●男子・女子ともに反復横跳びと長座体前屈の得点が低く、俊敏性や柔軟性に課題があります。

俊敏性の向上を目指します。鬼ごっこなどのすばやい動きが必要な運動を体育の授業で取り入れます。また、柔軟性を高める運動も取り入れます。

4年生の結果概要

○男子・女子ともに、立ち幅跳びが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに20mシャトルラン、反復横跳びの得点が特に低く、持久力や俊敏性に課題があります。

持久力と俊敏性の向上を目指します。なわとび、持久走などの長時間ねばり強く続ける運動やかけっこやリレーなどのすばやい動きが必要な運動を積極的に体育の授業の中に取り入れます。

5年生の結果概要

○男子・女子ともに立ち幅とびが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに、20mシャトルランの記録が特に低く、持久力に課題があります。

持久力の向上を目指します。なわとびや持久走などの長時間ねばり強く続けていく運動やラダートレーニングなどの反復練習を取り入れた運動を体育の授業で取り入れます。

6年生の結果概要

○男子・女子ともに上体起こし、立ち幅跳びが都平均より高い水準にあります。

●男子・女子ともに反復横跳び、20mシャトルラン、50m走の得点が低く、俊敏性や持久力に課題があります。

持久力と俊敏性の向上を目指します。なわとびや持久走などの長時間ねばり強く続けていく運動やリレーや巧みな動きを高めるための運動など、素早い動きが必要な運動を取り入れます。

<御家庭でぜひ取り組んでほしいこと>

○学校での遊びを含めて、1日60分間は体を動かしたり運動をしたりする（東京都からの目安です）。

○放課後はできるだけ屋外で遊ぶなどの運動の習慣を付ける（東っち広場や休日の校庭開放も御利用ください）。

○できるだけ徒歩で移動する（校庭開放や買い物等）。

<学校全体で取り組むこと>

○休み時間は外遊びを奨励していきます。また、長縄週間やジョギングタイムなど、体を動かす時間を設定します。

○体育の時間では、運動量を十分に確保した授業展開を行います。

○児童の運動意欲を高めるため、運動委員会が企画した遊びを休み時間に実施します。

以上のことから、練馬東小学校では来年度、児童の体力向上を目指し、体育の校内研究に取り組んでまいります。